

配布タブレットにLTE

三島市議会
一般質問答弁
自宅学習の環境整備

局長 飛舟 乗舟 戸丸 責争

令和2年(2020年)9月25日(金曜日)

三島市議会9月定例会は24日、一般質問を行った。市は全小中学生に配布するタブレット端末に高速通信システムのLTE機能を搭載させ、家庭にWiFi設備がない児童生徒も自宅や校外での学習にオンラインを活用できる環境を整える方針を明らかにした。古長谷稔氏(新政会)への答弁。

市教育委員会によると自宅にWiFi環境が整っている家庭は約8割で、地域差もみられるという。LTEの搭載でコストは2倍程度に上がるものの、感染症による休校時や不登校の子供らにも等しく教育環境を確保するために導入を決めた。タブレット端末は

原則として各自が持ち帰って管理し、予習復習など家庭学習の充実や学校便りなどのペーパーレス化につなげるという。	完成に伴い水質の計測方法を変更した影響と説明し、数値の上昇についても「目視では確認できないレベル。地下水の異常は発生していない」と述べた。
一方、杉沢正人氏(新政会)は6月にホテルがオープンした三島駅南口西街区で地下水の濁度が上昇したと指摘した。当局はホテルの	(緑水会)、宮下知朗(新未来21)の西氏も登壇した。(三島支局・金野真仁)